

～夏の活動記録～

高校生海ごみ調査

海洋ごみ問題に関して、出雲市ポイ捨て禁止推進協議会が企画された海ごみ調査に参加。大社高校JRC部、平田高校JRC部、出雲西インターアクトクラブ、で調査し「海洋ごみ予報プロジェクト」活動をしておられる島根大学、辻本先生の助言のもと実施した。

〇7月14日（日）ごみの種類別調査 in 三津海岸



三津海岸

1 人では拾いきれない大きさの漁業ごみやペットボトル、漁具などのごみが想像より多かった。10 分間のゴミ拾いで大量のごみを収集した。



ごみの種類分別作業

靴、ブイ、プラスチック破片、歯ブラシ、殺虫スプレーなども打ち上げられていた。ペットボトルが沢山あり、特にポイ捨てする傾向があると思った。また、バーコードで製造国が分かることを教えてもらい驚いた。

〇9月7日（土）三津海岸ごみ調査結果・意見交換

～分別調査～

- ・生活ごみ(プラスチック製品)64%
- ・漁業ごみ 14%
- ・その他 15%
- ・生活ごみ(プラスチック以外)7%

中国、韓国のものも漂着しているが、日本語表記のペットボトルが 23% 占めていた。



～意見交換～

- ・天気予報のように海洋ごみの漂着を発信する取り組みにより、清掃の効率がよくなり、たくさんの効果があると思った。
- ・今回のような活動を定期的続けること、マイクロプラスチックになる前にごみを拾うことが大切。
- ・私たちにできることは、ごみの量を減らすこと。

めざせごみゼロ活動

〇7月24日（水）稲佐の浜清掃活動

大社ロータリークラブの方々と大社高校JRC部で早朝 6 時 30 分～、30 分間ゴミ拾いを行った。



～感想～

三津海岸のごみとは異なり、小さなプラスチックの破片が多い印象を受けた。ごみを拾う場所によって種類、特徴に違いがあることに気づくことができた。大量の海洋ごみが海中を漂い生態系に悪影響を及ぼしているため、誰もが行動を見直し、環境を守らなければならないと思った。ゴミ拾いは環境を守るための重要な活動であると感じた。一度ポイ捨てされたら回収は難しい。ごみを捨てないように注意喚起をみんなで行って取り組んでいくことが大切だと感じた。

〇9月24日（火）ごみゼロ運動 in 大社高校周辺

JRC部の呼びかけで大社高校野球部と一緒に大社高校周辺のゴミ拾いを行った。



～活動に参加して～

- ・普段見過ごしがちなごみを拾い、地域の美化に貢献できてとても達成感を感じた。地域の環境への意識が高まった。
- ・普段歩いている道に想像以上のごみがたくさん散らかっていることに驚いた。

・たばこの吸い殻やプラスチックごみ、不燃ごみが主に落ちていた。お菓子の袋、ペットボトルのラベルがあり、高校生が落としているのでは？と思った。環境問題の深刻さや日常生活での行動を見直すきっかけになった。まずは自分から落ちているごみを拾って綺麗な街をつくってきたい。



〇10月19日（土）スポGOMI甲子園・島根県大会 in キラビーチ



スポGOMI甲子園とは、「スポーツ×ゴミ拾い」の略。3人1組でチームを組み、決められたエリアで時間内に拾ったごみの量や種類でポイントを競う競技大会。優勝チームは東京で開催される全国大会へ出場する権利を得ることができる。

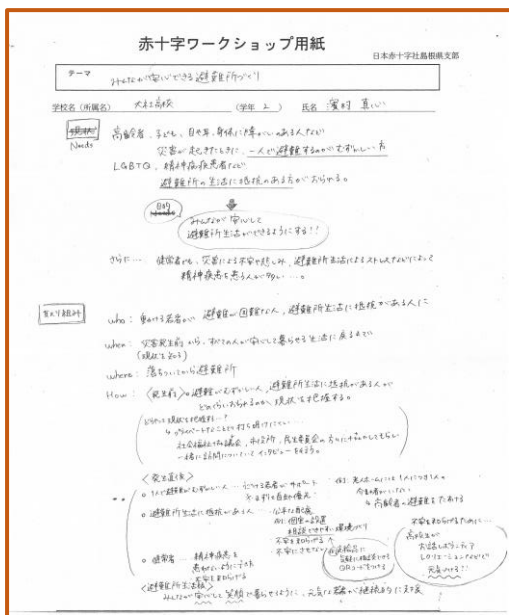
当日は 22 チームが参加し、全部で 36.9 kgものごみを拾い集めていた。

オリジナルアイテムを作り、チームマネも参加して441ポイントで3位でした。



○青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター

7月31日(水)～8月2日(金) サンレイク



自ら進んで行動できる自主・自立の精神を身につけ、学校や地域社会のリーダーとなる資質を身につけることを目的としたリーダーシップトレーニングセンターに、県内小学生4～6年生、中学生、高校生、大社高校JRC部1名、計90名が参加した。2泊3日の研修では、常に自分の動きをVSボード(ボランタリー・サービス)で確認して行動した。

JRC部の態度目標である「気づき、考え、行動する」を常に意識し仲間とともに協力しあう心、仲間を認めあう心、ボランティアの心を高める事ができたと思う。

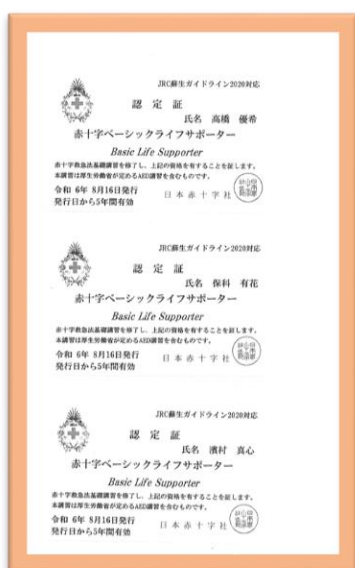


～高校生のワークショップ～

昨年、避難所に指定されている我校で「高校が力を発揮できる事は何か?」ということで、HOGを実施し活動した。これを踏まえて、今回「みんなが安心できる避難所づくり」をテーマに決めた。12月の秋季協議会で取り組んだ内容を発表する予定にしている。

○赤十字養成講座

8月16日(金) 三刀屋高校



救急法基礎講習をJRC部3名が受講した。

受講内容

- ◇赤十字救急法について
- ◇手当の基本
- ◇一次救命処置(AEDの使用法を含む)
- ◇気道内異物除去

講習、検定を経て、3名が合格した。

「ベーシックライフサポーター認定証」を交付された。

○出雲科学館ボランティア活動

8月6(火)・7(水)・10(土)・24(土)

毎年恒例の出雲科学館イベントボランティア活動にJRC部 5 名が参加した。



世界の昆虫展では、2000 点をこえる世界の昆虫標本の展示準備をし、来場された方の誘導を行った。細心の注意の中、昆虫標本を並べる準備をさせていただき、貴重な体験ができた。

めざせてっぺん!のぼり虫を作ろうでは、糸のこ盤を使って木の板から虫の形を切り出すお手伝いをした。

磁石でこつこつキツツキを作ろうでは、紙コップと磁石を使いキツツキがこつこつ動くおもちゃ作りのお手伝いをした。

来場してくださった方に積極的に声かけをし、喜んでいただけた。

○こぐま保育園

8月9日(金)

災害時を想定して、未就学児である保育園児を対象に遊び感覚で学んでもらいたいと思い、JRC部がボランティア活動をした。活動を行う前に学校で話し合い、練習して取り組んだ。



- ・危険な場所を園児に分かりやすい大きな絵本を使いクイズ形式で伝えた。
- ・足場の悪いところを想定した脱出ゲームを行い、楽しみながら体で体験してもらった。
- ・新聞紙 1 枚あればいろいろな生活用品を作ることができることを伝え、一緒に新聞紙足カバーを作った。

新聞紙足カバーはスリッパではなく寒い時の足の保温で使う物。他にもペーパーバック、箱、なども作ることができる。子ども達の長い行列ができた。

